



御田小 研究だより

平成27年7月15日
港区立御田小学校
校長 三浦 和志

第1回研究授業報告

6月23日(火) 5校時 5年1組
25日(木) 5校時 5年2組
(授業者 吉田 優美)

<理科> 単元名「ふりこ」

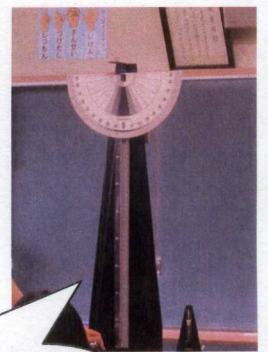
<単元でねらっていること>

○振り子の動きについて、振り子の動きの規則性にかかわる条件に目を向けながら調べ、見出した問題を計画的に追究する活動を通して、振り子の動きの規則性についての見方や考え方を養う。

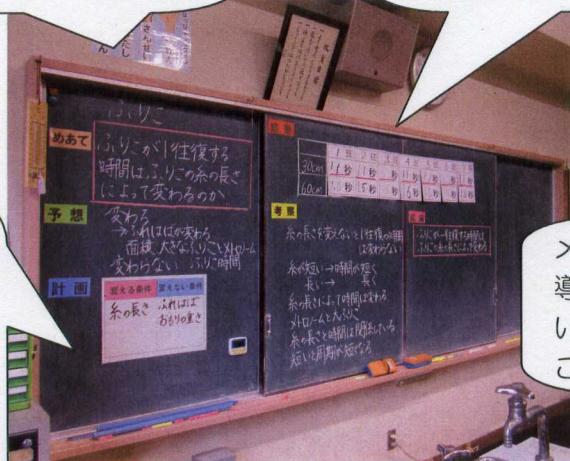
【ユニバーサルデザイン化の視点から】

毎時間の学習の流れを固定したことで、見通しをもち、安心して学習できるようにしました。(視覚化)

班ごとの結果を黒板に掲示したことで、全体で結果を共有しやすくなりました。(共有化)



毎回、「変える条件」「変えない条件」を意識させることで、スムーズに実験の計画を立てることができました。(焦点化)



メトロノームと巨大振り子を導入で使用し、「調べてみたい」という児童の意欲を高めることができました。

実験方法を電子黒板で見せたことで、確実に実験を行うことができました。また、班ごとの役割を黒板に提示し、どの児童も自分の役割を把握して実験に参加しました。(視覚化)



考察をノートに書いたり、話し合ったりするときに、「～という結果から・・・といえる。」という定型文を提示したことで、考えをうまくまとめることができました。(共有化)

<授業を終えて>

この授業では、振り子が1往復する時間が振り子の糸の長さによって変わるかどうかを調べました。どの児童も意欲的に実験を行うことができました。また、結果から分かったことをノートに書くことを苦手とする児童も、定型文を用いたことで自分の考えをまとめることができるようになってきています。これからも、意欲的に理科の学習に取り組めるよう、工夫をしていきます。